

# 火山

留寿都村では有珠山と羊蹄山の噴火が想定されます。日頃から噴火警戒レベルに注意しておきましょう。

## 知っておこう！火山防災の心得

●異常と思われる現象を発見したら、すぐに役場、警察、気象台などに連絡しましょう。



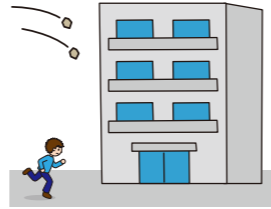
●気象庁が発表する噴火予報及び噴火警報に注意しましょう。



●村から避難指示などがあった場合にはそれに従いましょう。



●噴火時の風下側では、小さな噴石が風に流されて遠方まで降るため、丈夫な建物などに避難しましょう。



## 噴火警報・噴火予報と噴火警戒レベル

- 噴火警報は、噴火に伴って、生命に危険を及ぼす火山現象（大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流等、発生から短時間で火口周辺や居住地域に到達し、避難までの時間的猶予がほとんどない現象）の発生が予想される場合やその危険が及び範囲の拡大が予想される場合に「警戒が必要な範囲」を明示して発表します。
- 噴火予報は噴火警報を解除する場合等に発表します。
- 噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」（生命に危険を及ぼす範囲）と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分して発表する指標です。

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード	説明		
				火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法を判断）。	
			レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及び）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制。状況に応じて要配慮者の避難準備等）。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
		火口周辺	レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及び）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。		火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及び）。	通常の生活。	特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

# 災害時要配慮者のために

何らかのハンディキャップがあるために、避難行動や避難所での生活において手助けを必要とする人を災害時要配慮者といいます。このような方々にとって頼りになるのが、地域で暮す一人ひとりの助け合いです。

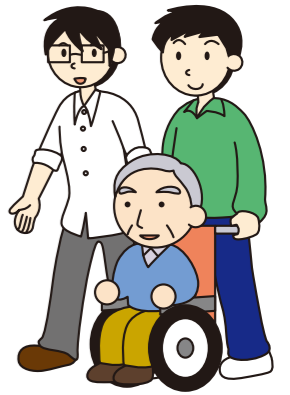
## 高齢者・傷病者の方

- 緊急時にはおぶって避難する。
- 1人での援助が困難な場合は、複数で担架や毛布などを使って避難する。



## 車いすを使う方

- 階段では2人以上で援助し、上がる時は前向きで、下りるときは後ろ向きで移動する。
- 車いすが使えない場合は、おぶって避難する。



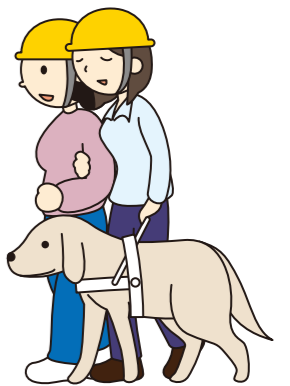
## 耳が不自由な方

- 筆談や身振り、手のひらに指で字を書くなどで伝える。
- 話すときには、口を大きくはっきりと動かし、言葉が伝わるようにする。



## 目が不自由な方

- 杖を持たない方の手でひじのあたりを軽くつかんでもらい、半歩前を歩く（杖や腕を引っ張らない）。
- 行き先や方向、段差など目の前の状況を知らせながら誘導する。



## 乳幼児を抱える方・妊産婦

- 声かけをしたり荷物を持ってあげたりして、身体的・心理的な負担を和らげる。



## 外国人の方

- できるだけ簡単な日本語で伝える。
- 言葉が通じない場合は、身振り手振りで避難所へ誘導する。



## 指定福祉避難所リスト

村では、妊産婦や乳幼児、高齢者等の要配慮者に対して「るすつ銀河の杜」「るすつ銀河の杜デイサービスセンター」を指定福祉避難所として指定しています。

※突発的な災害が発生した場合は、最寄りの避難所へ避難してください。  
※避難指示等が出されなくても、身の危険を感じた場合は自主避難を心がけましょう。

- るすつ銀河の杜
- るすつ銀河の杜デイサービスセンター

☎0136-46-2811  
(社会福祉法人溪仁会)